

## 強みを、さらに強く。磨き上げた使い勝手の良さ

### 3つのモードでスマートに使い分けられる、センターコンソールボックス

大型の可動式トレーの位置を変更することで、3つの収納モードを実現。用途に応じてフレキシブルに使える新開発のセンターコンソールボックス。(特許取得済(2018年8月時点))



**通常モード**  
トレーは通常位置。5.5インチのスマートフォンなど、小物を置くときに便利。



**BOXアクセスモード**  
トレーを後方にスライド。ティッシュボックスなど、普段は人目に触れさせたくないものをさっと取り出せます。



**大容量開放モード**  
トレーを取り外し、ボックス後方の底に装着。小型のハンドバッグなども収納可能です。



### 視線移動することなく取り出せる、コンソールカップホルダー

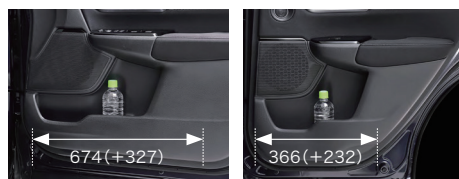
ドライバーが運転操作中、視線を下げることなく自然に取り出せる位置に設定したカップホルダー。取り間違いのないよう、左右に並べて配置しました。



サッと取り出せる横並び配置 マグカップにも対応

### 大容量フロントドア・リアドアポケット

スピーカー位置を上方に配置することで容量増加を実現したドアポケット。先代モデルより、フロントは車両前後方向に327mm、リアは同方向に232mm拡大。タブレットや折りたたみ傘などの収納を可能にしています。



フロントドアポケット リアドアポケット  
単位:mm ( )は先代モデル比 ※数値はHonda測定値

※小物類の形状・サイズ等によっては収納できない場合があります。

### フロント・リアにそれぞれUSBジャックを装備

センターコンソールボックス内部に1つ、後部に2つ、スマートフォンやタブレットを充電できるUSBジャックを装備。後部のUSBジャックは2.5A出力に対応し、急速充電も可能です。



ディスプレイオーディオ連動USBジャック(1列目)



充電専用USBジャック(2列目左右)

### 乗り降りのしやすさを、さらに向上

後席ドアは、開口角度を85度(先代モデル+6度)、開口幅を1,000mm(先代モデル+100mm)とし、ますます大きく開くドアへ。また、サイドシルの位置を内側にずらし、ヒップポイントからの距離を短縮するとともに、ドア下端を下方に伸ばしました。これにより、スムーズな乗り降りの実現に加え、乗降の際にズボンの裾などがサイドシルに触れて汚れるリスクも軽減。さらに、3列シート仕様では、後席ドアから3列シートに乗り込む際の一步目をできるだけ低く踏み出せるよう、リアのフレーム形状を最適化しています。

